

黒毛和種去勢牛の短期肥育に適した飼料給与方法と素牛の発育条件

粗タンパク質含量を高めた混合飼料(TMR)の給与により、肥育期間を5か月短縮しつつ一般出荷牛と同レベルの肉量・肉質を確保

背景・目的

- ・枝肉価格は堅調に推移しているものの、素牛価格や配合飼料価格の高止まりにより、肥育農家の収益性が悪化
- ・経済性向上を図るため、短期肥育体系における肉量・肉質を確保するための飼料給与技術の開発が必要



成果の内容

【出生】
【子牛市場】
【出荷】

一般肥育

子牛育成

0 9か月

肥育:20か月間

24か月 29か月

短期肥育

○短期肥育に最適な素牛の発育条件を肥育開始時体型と枝肉成績から推定

| 項目 | 推定値 | | マニュアル出荷目安(8.2か月齢) |
|--------|-------|-------|-------------------|
| | 8か月齢 | 9か月齢 | |
| 体重(kg) | 293.6 | 325.6 | 280.0 |
| 体高(cm) | 115.6 | 119.0 | 115.0 |

- 8か月齢時の推定値(体重・体高)は「子牛育成飼料給与マニュアル」の出荷目安と同レベル
- 「短期肥育マニュアル」と合わせて使用することで、肥育期間が短縮するとともに、十分な肉量・肉質を確保

○粗タンパク質含量を高めたTMRを給与

| 項目 | 前期用TMR | 後期用TMR |
|------------|--------|--------|
| 粗タンパク質(%) | 14.8 | 13.4 |
| 可消化養分総量(%) | 62.5 | 70.8 |
| 粗濃比 | 47:53 | 8:92 |

○枝肉成績

| 区分 | 枝肉重量(kg) | ロース芯面積(cm ²) | ばら厚(cm) | BMS No. |
|------|----------|--------------------------|---------|---------|
| 短期肥育 | 490 | 64 | 8.4 | 6.5 |
| 一般肥育 | 478 | 60 | 7.7 | 6.6 |






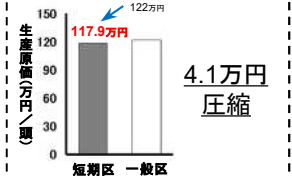
図:TMR給与状況

5か月短縮

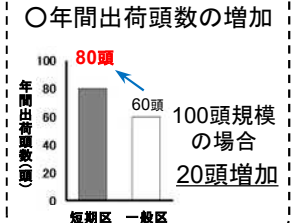
←

導入メリット

○生産原価の圧縮



○年間出荷頭数の増加



期待される効果

生産原価の圧縮, 出荷頭数の増加による収益性の向上

鹿児島県農業開発総合センター大家畜部肉用牛研究室

普及対象・範囲 県内の肉用牛農家